

令和3年6月23日

オリンピック・パラリンピック推進課

東京2020大会におけるハイパフォーマンスセンターについて

1 ハイパフォーマンスセンターとは

東京2020大会に参加する選手が、競技直前の準備を万全に整えられるよう、選手、コーチ及びサポートスタッフがトレーニング等を行うためにNOC（各国オリンピック委員会）・NPC（各国パラリンピック委員会）が独自に手配する施設（拠点）のこと。

2 ハイパフォーマンスセンターとして提供する区内の施設

施設名	使用する国	競技	使用期間（予定）
豊洲西小学校 （体育館）	ブラジル	バレーボール	7/20(火)～7/23(金)
越中島プール	フランス	トライアスロン	7/23(金)～8/1(日)
		マラソンスイミング	8/1(日)～8/5(木)
		パラトライアスロン	8/26(木)～8/30(月)
	オーストラリア	トライアスロン	7/20(火)～8/1(日)
		パラトライアスロン	8/25(水)～8/29(日)

3 ハイパフォーマンスセンターでの主な新型コロナウイルス対策

- 施設には必ず専用車両で移動する。（公共交通機関は使用しない。）
- 選手が施設を使用する時間はチームの貸し切りとする。
- 選手と一般利用者の利用時間、動線を明確に分離し、接触を避ける。
- 入場時の検温、手指の消毒を行い、大声での会話を控える。
- プレー中を除き、選手はマスクを着用する。コーチ等のチームスタッフは常にマスクを着用する。
- 指定されたエリア以外には一切の立ち入りを禁止する。
- トレーニング終了後は使用した用具、設備等の消毒を行う。

4 東京2020大会において公式練習会場として使用する区内施設（参考）

- (1) 江東区スポーツ会館（競技：バレーボール）
- (2) 夢の島競技場（競技：サッカー）